



関西広域連合

令和 6 年 12 月 21 日

イノベーション推進担当

関西健康・医療創生会議シンポジウム 「人口減少社会を“希望”に」

2050 年には日本の人口が 1 億人を切る見通しですが、人口減少を中長期的視点で捉え、新たな可能性を創出し、希望を持ってこれからの時代に向き合う方法を共に考えるシンポジウムを開催します。

- 【日 時】 令和 7 年 1 月 22 日（水）16:00～18:00
- 【場 所】 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）12 階特別会議場
（大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51）
- 【主 催】 関西健康・医療創生会議、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会
- 【共 催】 関西広域連合、バイオコミュニティ関西
- 【後 援】 （公社）関西経済連合会、（一社）関西経済同友会、関西医薬品協会
- 【参加定員】 200 名（現地のみ・先着順）
- 【主な対象】 テーマやプログラムに関心がある方ならどなたでも参加可能
- 【参加申込】 以下 URL または関西健康・医療創生会議 HP からご登録ください
<https://www.khma.jp/form/sym25a/> （参加無料）



QR コードからも
参加登録可能です。

【プログラム】（敬称略）

- 特別講演「エコロジカル視点から 40 年後の関西を考える」
総合地球環境学研究所 所長（京都大学 前総長） 山極 壽一
- 基調講演
 - ・「人口減少社会のデザイン」
京都大学人と社会の未来研究院 副院長・教授 広井 良典
 - ・「人口減少社会の諸相と広域連携の重要性（仮）」
関西広域連合 広域連合長（滋賀県知事） 三日月 大造（オンライン出講）
- パネルディスカッション
 - ・「人口減少をチャンスに変えるには」（パネリスト：山極壽一／広井良典／三日月大造）



- 【問合せ先】 関西健康・医療創生会議事務局（E-mail: gaku-renrakukai@nifty.com）
関西広域連合本部事務局イノベーション推進担当（兵庫県産業労働部新産業課）

（TEL 078-362-3335 E-mail: sousei@pref.hyogo.lg.jp）



人口減少社会を 希望に

2025年
1月22日〈水〉
16:00～18:00

【会場】
大阪府立国際会議場
(グランキューブ大阪)
12階特別会議場

※オンラインでの公開は行いません。

【参加費】【定員】
無料 200名



【参加申し込み】※先着順

申し込みは右のQRコード、または下記URLよりお願いします

<https://www.khma.jp/form/sym25a/>

■連絡先／

関西健康・医療学術連絡会事務局
gaku-renrakukai@nifty.com

人口の減少が急速に進展する現在。
2050年には日本の人口は1億人を
切る見通しで、不安な社会の到来を
想像する人が多いようです。しかし、
未来は本当に厳しいのでしょうか。
「成長社会」から「成熟社会」へと移
行した今、この人口減少という課題
をただ悲観的な側面だけで捉えるの
ではなく、中長期的な視点に立って
新たな可能性を創出し、希望を持っ
てこれからの時代に向き合う方法に
ついて考えます。

総合地球環境学研究所 所長
(京都大学 前総長)

山極 壽一

Juichi Yamagiwa

「エコロジカル視点から40年後の関西を考える」



京都大学 人と社会の未来研究院
副院長・教授

広井 良典

Yoshinori Hiroi

「人口減少社会のデザイン」



関西広域連合 広域連合長
(滋賀県知事)

三日月 大造

(オンライン出講)

Taizo Mikazuki

「人口減少社会の諸相と広域連携の重要性(仮)」



関西健康・医療創生会議シンポジウム

Symposium Program (演題・プログラム内容は変わる可能性があります)

【開会挨拶】

16:00～16:05

牧村 実

関西経済連合会 科学技術・産業振興委員長

【特別講演】

16:05～16:35

[座長] 坂田 恒昭

バイオコミュニティ関西 副委員長

「エコロジカル視点から40年後の関西を考える」(30分)

山極 壽一

総合地球環境学研究所 所長(京都大学 前総長)

【基調講演】

16:35～17:25

[座長] 橋本 信夫

関西健康・医療学術連絡会 理事長

「人口減少社会のデザイン」(30分)

広井 良典

京都大学人と社会の未来研究院 副院長・教授

「人口減少社会の諸相と広域連携の重要性(仮)」(20分)

三日月 大造 (オンライン出講)

関西広域連合 広域連合長(滋賀県知事)

【パネルディスカッション】

17:25～17:55 (30分)

「人口減少をチャンスに変えるには」(30分)

[コーディネーター] 落合 正晴

関西健康・医療学術連絡会事務局 次長

[パネリスト] 山極 壽一／広井 良典／三日月 大造

【閉会の辞】

17:55～18:00

井村 裕夫

関西健康・医療創生会議 議長(京都大学 元総長)

Profile

山極 壽一 (やまぎわ じゅいち)

1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。ルワンダ共和国カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。現在、総合地球環境学研究所所長、2025年国際博覧会(大阪・関西万博)シニアアドバイザーを務める。

広井 良典 (ひろい よしのり)

1961年岡山市生まれ。東京大学・同大学院修士課程修了後、厚生省勤務を経て96年より千葉大学法経学部助教授、2003年より同教授。この間マサチューセッツ工科大学(MIT)客員研究員。16年4月より京都大学教授。専攻は公共政策及び科学哲学。『日本の社会保障』(岩波新書)でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』(ちくま新書)で大仏次郎論壇賞受賞。他に『ポスト資本主義』、『人口減少社会のデザイン』、『科学と資本主義の未来』など著書多数。この間、教育再生懇談会委員、内閣府・幸福度に関する研究会委員、国土審議会専門委員、環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員等を務める。

三日月 大造 (みかづき たいそう)

1971年生まれ。滋賀県出身。1994年、一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社に入社。駅員、電車運転士や営業スタッフなどに従事。2002年4月(財)松下政経塾入塾。2003年11月に衆議院議員初当選し、以降4期連続で衆議院議員を務めた。2009年9月民主党政権下において国土交通大臣政務官、国土交通副大臣などを歴任。2014年7月滋賀県知事に就任。現在3期目。2022年12月関西広域連合長に就任。2023年5月に全国知事会の副会長に就任。2023年7月に新たに立ち上げられた全国知事会 子ども・子育て政策推進本部の本部長に就任。次世代を担う子どものために、子どもとともにつくる滋賀県政の実現に取り組んでいる。